

# YAMAKADO NEWSLETTER

NO. 号外  
2011/11/12

山門水源の森を次の  
世代に引き継ぐ会



## 観察コース・楽舎の周囲きれいになりました

午前 8 時 20 分楽舎への進入道路に次々と軽トラが到着。みるみる楽舎前は軽トラで埋まる。2005 年以來お



集結された老人会のみなさん



沢コースを作業地点に向かう

世話になっている元気そうなみなさんの顔が揃う。恒例になった出発前の記念写真撮影後沢コースで作業地点に向かう。作業は、楽舎周辺整理班と「ヒノキの森」から湿原へ刈り降りる班・湿原班に分かれて実施。

作業は実に能率的で丁寧。さすが日頃の経験がものを



楽舎周辺の整理作業

言う世界。見る見るスカッとした光景に胸がすく。これで来春もきれいな花芽が出てくれるはずである。



湿原脇の草刈り



尾根コースの草刈り



湿原脇の草刈り



木漏れ日の下で昼食



ヒノキの森下の草刈り



案内周辺は見違えるように



湿原脇もスカッとなりました

昼食時には、湿原が望める「展望場」でみなさんとかつての森の話や日頃の思いを語り合いました。この日は、西浅井中学の陸上部の生徒諸君も除伐作業を行っている尾根で、林床整備作業をしてくださいました。連日訪れる来訪者の口から「随分整備が行き届いていますね」と感嘆の声が聞かれます。お疲れ様でした。



昼食場所から望む湿原



西浅井中学生の林床整備